

令和2年度（2020年度）試験研究成果

課題番号：R2-02

課題名：はなっこりー新品種等に対応した鮮度保持フィルムの開発

研究期間：平成30年度～令和元年度（2018年度～2019年度）

研究担当：経営高度化研究室

1 研究の目的

（1）背景・目的

はなっこりーの生産販売に関する状況は、品種改良や葉付きの出荷、出荷期間の長期化等の変化がある一方、それぞれの条件に対応した鮮度保持用の包装フィルムの適性についての確認は実施しておらず、農業団体等から適正評価の要望がある。

（2）到達目標

はなっこりー新品種等に適した鮮度保持フィルムを開発評価する。

2 成果の概要

（1）はなっこりーの呼吸量は3品種間（E2、ME、L）に差はみられない。

（2）葉の有無による呼吸量への影響はみられない。

（3）（1）、（2）より品種や葉の有無が異なってもフィルムを変える必要がない

（4）フィルムの適性は、現行よりガス透過性の小さい①東洋紡（GF-D）②P-プラス（透過性小）、③P-プラス（現行）の順で適性がある。

3 成果の活用

はなっこりーの品種改良による出荷期間（9～5月）の長期化に対応できる鮮度保持フィルムとして、現在採用されているフィルムを上記①、②に変更するよう農業団体等に提案する。

4 主なデータ

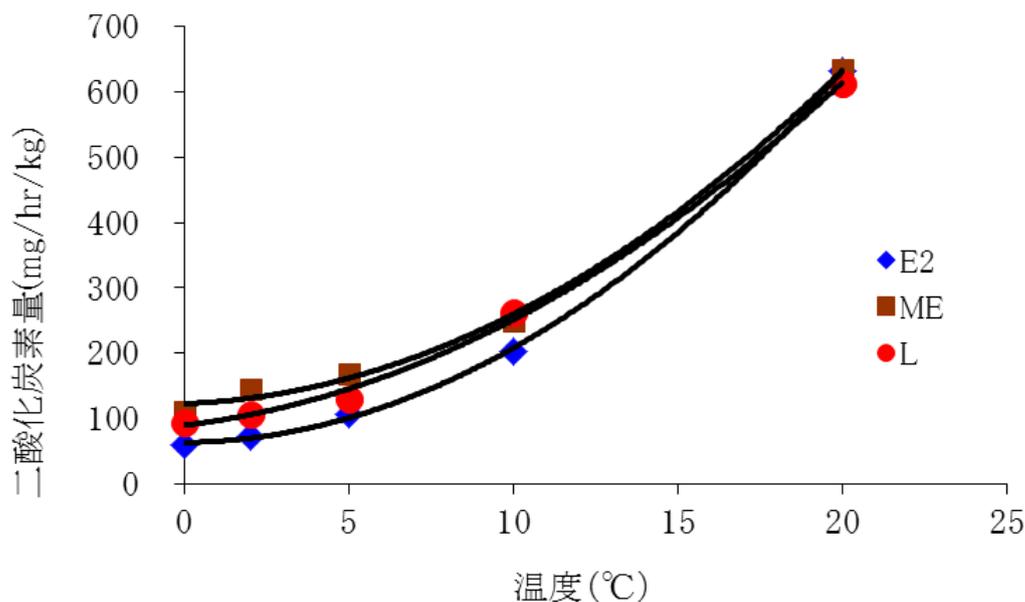


図1 温度と呼吸量の関係 (H30年度)

表1 酸素濃度を指標にした分散分析

変動因	平方和	自由度	平均平方	F0	判定
葉の有無 (A)	0.41	1	0.41	0.236	
保存温度 (B)	48.02	1	48.02	27.817	**
袋種類 (C)	75.46	1	75.46	43.714	**
A × B	3.03	1	3.03	1.753	
A × C	1.00	1	1.00	0.580	
B × C	26.05	1	26.05	15.090	**
誤差(e)	1.73	1	1.73		
	155.7	7			

F(0.05)=5.59 F(0.01)=12.25

表2 MEを包装した時のガス組成(20°C 7日目)

	臭気	花の開花	蕾の変化(黄化)	軟腐	カビ、腐敗	茎の変色	萎れ	H31 総合評価
P-プラス(現行)	○	△	△	◎	◎	○	◎	△
P-プラス(透過性小)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
レンゴー(標準)	◎	×	×	◎	◎	○	◎	×
東洋紡(GF-D)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
東洋紡(GF-E)	○	×	△	◎	◎	○	◎	×
ベジフレッシュP	△	◎	○	◎	□	◎	○	×
ベジフレッシュ	△	◎	○	◎	□	◎	□	×
0.025ポリエチレン	○	◎	◎	◎	□	◎	○	-

注1) ◎:良好 ○:僅か変化 □:2~3割変化 △:5~6割変化 ×:著しく変化

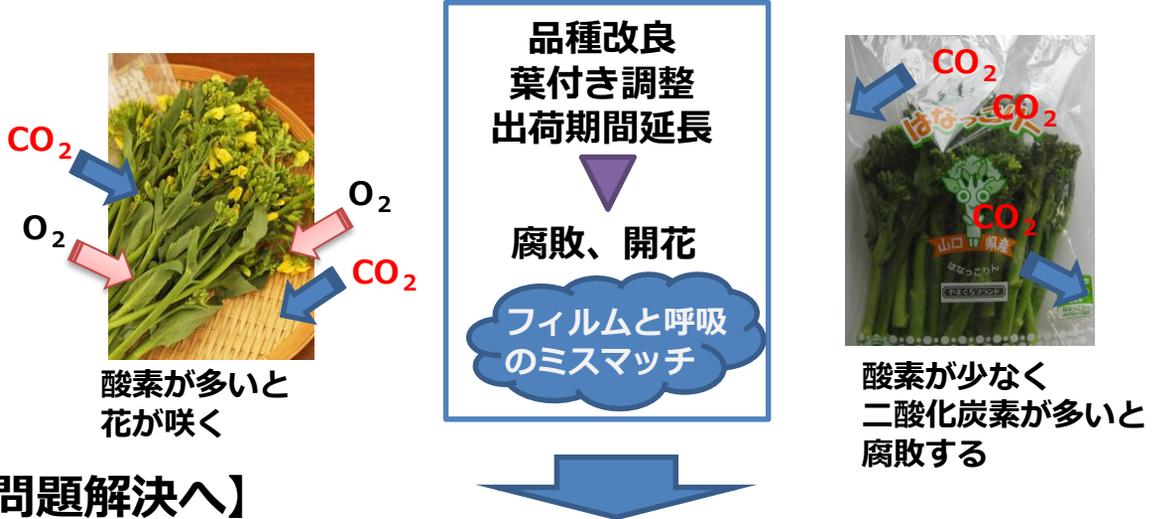
注2) 東洋紡GFガス透過性: (E) > (D)

はなっこりー新品種等に対応した鮮度保持フィルムの開発

研究期間：H30-R1（2018-2019）

研究担当：経営高度化研究室

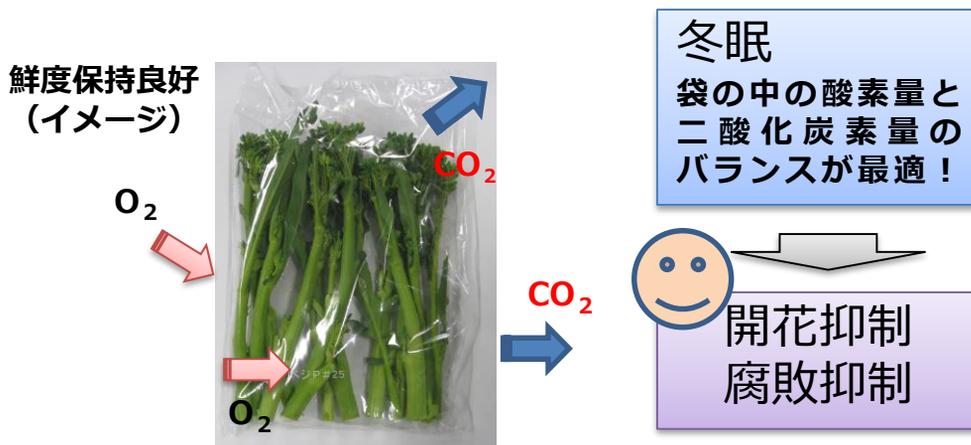
【現状と問題点】



【問題解決へ】

現在のはなっこりーにあった袋にリニューアル

- ・ガス交換量を現状より抑えたP-プラスへ
- ・現状P-プラスよりガス交換量小のGFフィルムへ



【成果の活用】

包装会社への情報提供・製袋
農業団体への情報提供・取扱

農家は安心して出荷